

1)「左の線と同じ線を書いてみましょう」。
2)難しい場合は、左の問題図版の丸点と右答欄の同位
置の丸点に同じ色をつけてガイド。困難の度合いに
応じてこれを行う。
3)説明には、左・右、上・下、下の語を用いること。

a)必要な点に色を付けることでサボート出来る線模写。
b)線の模写＝平面空間における位置関係の知覚。
c)左・右、上・下の概念

Date /
Note
評



おなじ ように せんを かこうね。









